

美川憲一 & 瀬川瑛子

名曲&テレビ初披露デュエット曲も！

鶴瓶のええ歌やなあ

8月13日(木)よる8時00分



日本BS放送株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 玉井忠幸、以下「BS11」)は、**8月13日(木)よる8時00分～8時57分**にゲストの歌声からトークまでたっぷり楽しめる大人の歌謡&トーク番組、『**鶴瓶のええ歌やなあ**』(MC:笑福亭鶴瓶、ハ木亜希子)を放送いたします。

今回のゲストは、同じレコード会社の先輩・後輩である**美川憲一さん&瀬川瑛子さん**。

「さそり座の女」や「命くれなない」といった名曲のほか、デュエット曲「ふたりが一番」を**テレビ初披露**！プライベートでも親交のある美川さん・瀬川さんの**抜群のコンビネーション**に、美川さんの“おだまり”も飛び出し、終始楽しいトークが繰り広げられます。また、病や困難を経験しながらも歌い続ける二人がその思いを語ります。

●美川さんに歌っていただくのは、瀬川さんにとっても印象深い曲だという名曲「さそり座の女」や、当時「この曲は好きではないから歌えない」とふてくされながらレコーディングしたことが評価されたという「柳ヶ瀬ブルース」。瀬川さんが披露するのは、長い低迷期の末、歌手人生最大のヒット曲となった「命くれなない」です。ネットで購入した大漁旗を3枚使用しているという、瀬川さんの特注の衣装にも注目です。

●さらに、**秋元康さんが作詞をした1993年リリースのデュエット曲「ふたりが一番」をテレビ初歌唱**！当時、レコーディングも別々で行ったそうで、今回番組で一緒に歌えることを喜ぶお二人でした。

●声帯に嚢胞(のうほう)ができ、突然思うように声が出なくなってしまった瀬川さん。「命くれなない」の低音が出にくくなるなど、**手術に踏み切るまでの悩み**を語ります。一方、心臓の病を患い、検査をしたことがきっかけで**パーキンソン病が判明**した美川さん。復帰ステージで披露したのは、生きることの尊さを表現したシャンソンの名曲「生きる」。以前からコンサートで披露していたそうですが、病気を経験したことで、より深く歌えるようになったそう。さらに、「**こういう歌に出会えてよかった。死ぬまでこの歌を歌う**」と宣言。「素晴らしい、しみる」と感激する鶴瓶さんに「(年を重ねると)もっともっとしみるようになります」と予言する美川さんでした。

美川憲一 歌唱曲

- ♪ さそり座の女
- ♪ 柳ヶ瀬ブルース
- ♪ 生きる
- ♪ これで良しとする(新曲)

瀬川瑛子 歌唱曲

- ♪ 命くれなない
- ♪ バラ色のタンゴ(新曲)

美川憲一 & 瀬川瑛子
デュエット

- ♪ ふたりが一番



「鶴瓶のええ歌やなあ」番組HP：<https://www.bs11.jp/entertainment/eeuta/>

